

機関・団体名	議題							意見	意見への対応
	(1) 令和2年度病床機能報告の結果について	(2) 地域医療構想に関する国の動きと県の対応について	(3) 病院の機能分化・連携の方向性について	(4) 病院プロフィールシートについて	(5) 地域医療介護総合確保基金を活用した補助制度について	(6) 外来医療の機能の明確化・連携等について	(7) 在宅医療・介護連携の推進について		
上十三医師会	無	無	無	無	無	無	有	議題(7)関係 在宅医療をやる医師がもっと多くなればと思う。その為には、色々な条件をより明確にと思う。	県では、医療介護総合確保基金を活用し、医師が在宅医療に取り組みやすい環境の整備に取り組んでいます。 具体的には、青森県医師会等への委託により、在宅医療の担い手となる多職種を対象に、協働による在宅医療が円滑に行われるよう研修会及び課題検討会などを開催しているほか、在宅医療の実施に必要な機器等の導入経費や、事務作業を補助するクラークの設置経費について支援を行っています。 これまでの取組により、県内で歯科訪問診療を実施している診療所数 が、平成27年の114か所から令和元年には172か所に増加したほか、訪問診療を受けた患者数が、平成27年の52,033件から令和元年には54,027件に増加するなど、着実に在宅医療提供体制が整備されてきているところです。 また、県では、医療機関へのアンケート調査等により、県内の在宅医療提供体制の現状や、新たに在宅医療に取り組む際の課題等について把握に努めているところです。 調査結果の取りまとめについては公開を検討しており、新たに在宅医療に取り組もうとする医療機関の参考に資するものと考えています。